



令和6年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年6月29日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <https://www.okaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 健広  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中根 啓司 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 令和5年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年2月期第1四半期の連結業績(令和5年3月1日~令和5年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年2月期第1四半期	267,516	19.6	7,520	9.7	8,464	19.1	5,689	17.3
5年2月期第1四半期	223,707	—	6,857	34.5	7,106	13.0	4,851	11.6

(注) 包括利益 6年2月期第1四半期 9,145百万円(30.7%) 5年2月期第1四半期 6,997百万円(△50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年2月期第1四半期	591.35	—
5年2月期第1四半期	504.22	503.96

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、令和5年2月期第1四半期の売上高については対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年2月期第1四半期	734,030	312,654	40.3
5年2月期	716,785	304,975	40.2

(参考) 自己資本 6年2月期第1四半期 296,034百万円 5年2月期 288,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年2月期	—	120.00	—	125.00	245.00
6年2月期	—	—	—	—	—
6年2月期(予想)	—	125.00	—	125.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年2月期の連結業績予想(令和5年3月1日~令和6年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,000,000	3.9	28,000	△4.9	31,000	△4.8	20,000	△15.0	2,078.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年2月期1Q	9,720,000株	5年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	6年2月期1Q	99,110株	5年2月期	99,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	6年2月期1Q	9,620,889株	5年2月期1Q	9,622,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米の金融引き締めによる影響の一方、良好な雇用環境により、底堅く推移しました。日本経済は、製造業の生産活動の回復や行動制限解除による個人消費の伸長により、堅調に推移しました。

このような環境において、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,675億円で前年同期比19.6%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が202億52百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益が75億20百万円（前年同期比9.7%増）、経常利益が84億64百万円（前年同期比19.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億89百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、建材関連や製造業向けを中心に好調でした。

特殊鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、産機・工作機械向けが順調に推移しました。

海外は、アジア・中東向けが順調に推移しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、1,021億円（前年同期比13.3%増）となりました。

(情報・電機)

エレクトロニクス部門は、車載部品、FA関連が順調に推移しました。

非鉄金属部門は、産機・家電向け電子部品用材料が減少したものの、前年後半に子会社を取得したことにより、全体として増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、750億円（前年同期比32.8%増）となりました。

(産業資材)

メカトロ部門は、自動車関連設備・工具や車載部品が好調でした。

化成品部門は、自動車関連や国内の住宅設備向けが順調に推移しました。

産業資材セグメントの売上高は、772億円（前年同期比19.3%増）となりました。

(生活産業)

配管建設部門は、配管資材が順調に推移しました。

食品部門は、鶏肉や鶏卵加工品が順調に推移しました。

生活産業セグメントの売上高は、130億円（前年同期比6.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,340億30百万円となり、棚卸資産や売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べて172億45百万円増加しました。

負債は4,213億76百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて95億66百万円増加しました。

純資産は3,126億54百万円となり、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて76億78百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては令和5年3月30日発表の予想数値を据置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,327	18,001
受取手形、売掛金及び契約資産	237,221	239,435
電子記録債権	63,758	66,157
商品及び製品	110,150	111,999
仕掛品	11,576	17,572
原材料及び貯蔵品	2,267	2,468
その他	23,280	26,048
貸倒引当金	△1,968	△1,903
流動資産合計	466,615	479,781
固定資産		
有形固定資産	58,866	59,708
無形固定資産	2,885	2,723
投資その他の資産		
投資有価証券	156,742	159,776
その他	31,911	32,277
貸倒引当金	△234	△235
投資その他の資産合計	188,418	191,817
固定資産合計	250,170	254,249
資産合計	716,785	734,030

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,337	130,236
電子記録債務	41,007	41,074
短期借入金	152,369	153,034
未払法人税等	5,232	2,426
賞与引当金	1,864	3,170
その他	23,832	32,101
流動負債合計	351,644	362,043
固定負債		
長期借入金	14,363	12,792
繰延税金負債	38,116	38,843
役員退職慰労引当金	1,286	1,172
退職給付に係る負債	2,517	2,570
その他	3,882	3,952
固定負債合計	60,166	59,332
負債合計	411,810	421,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,805	7,805
利益剰余金	191,174	195,660
自己株式	△515	△515
株主資本合計	207,593	212,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,321	73,079
繰延ヘッジ損益	250	546
為替換算調整勘定	5,474	6,698
退職給付に係る調整累計額	3,832	3,631
その他の包括利益累計額合計	80,879	83,955
非支配株主持分	16,502	16,620
純資産合計	304,975	312,654
負債純資産合計	716,785	734,030

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年5月31日)
売上高	223,707	267,516
売上原価	205,923	247,263
売上総利益	17,783	20,252
販売費及び一般管理費	10,925	12,731
営業利益	6,857	7,520
営業外収益		
受取利息	187	185
受取配当金	1,087	1,318
持分法による投資利益	230	172
その他	286	657
営業外収益合計	1,791	2,334
営業外費用		
支払利息	325	822
為替差損	1,103	343
その他	113	223
営業外費用合計	1,543	1,389
経常利益	7,106	8,464
特別利益		
固定資産売却益	9	70
投資有価証券売却益	-	2
特別利益合計	9	72
特別損失		
固定資産処分損	26	10
投資有価証券評価損	-	12
特別損失合計	26	23
税金等調整前四半期純利益	7,089	8,513
法人税、住民税及び事業税	2,278	2,776
法人税等調整額	△247	△225
法人税等合計	2,031	2,551
四半期純利益	5,058	5,962
非支配株主に帰属する四半期純利益	206	273
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,851	5,689



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年3月1日 至 令和4年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年3月1日 至 令和5年5月31日)
四半期純利益	5,058	5,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△816	1,824
繰延ヘッジ損益	171	267
為替換算調整勘定	2,312	1,042
退職給付に係る調整額	△302	△202
持分法適用会社に対する持分相当額	574	252
その他の包括利益合計	1,939	3,183
四半期包括利益	6,997	9,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,633	8,765
非支配株主に係る四半期包括利益	364	380

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 令和4年3月1日 至 令和4年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	90,171	56,473	64,739	11,695	223,079	—	223,079
その他の収益	—	—	—	627	627	—	627
外部顧客への売上高	90,171	56,473	64,739	12,323	223,707	—	223,707
セグメント間の内部売上高又は 振替高	172	1,044	228	1,617	3,062	△3,062	—
計	90,343	57,517	64,967	13,940	226,769	△3,062	223,707
セグメント利益	1,911	2,216	1,816	700	6,645	211	6,857

(注)1. セグメント利益の調整額211百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和5年3月1日 至 令和5年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	102,174	75,008	77,265	12,429	266,877	—	266,877
その他の収益	—	—	—	638	638	—	638
外部顧客への売上高	102,174	75,008	77,265	13,068	267,516	—	267,516
セグメント間の内部売上高又は 振替高	385	1,423	146	428	2,384	△2,384	—
計	102,560	76,432	77,411	13,497	269,900	△2,384	267,516
セグメント利益	2,127	2,167	2,493	577	7,365	154	7,520

(注)1. セグメント利益の調整額154百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。